

No.82遺跡第3次調査について

- 1 遺跡の名称 No.82遺跡 (No.16-082)
- 2 遺跡の種類 集落跡
- 3 調査原因 個人専用住宅建設
- 4 所在地 北本市石戸宿8丁目173の一部、340
- 5 調査年月日 平成30年4月13日～4月17日
- 6 調査主体 北本市教育委員会
- 7 発掘担当者 坂田 敏行 (北本市教育委員会文化財保護課主任)
- 8 調査面積 約16㎡
- 9 調査内容

No.82遺跡は、JR高崎線北本駅の南西方約2.8kmの距離に位置し、行政区上は石戸宿8丁目地内に所在します。遺跡は、西に荒川を、東に小支谷を望む台地上に位置しており、標高は約30mです。調査は個人住宅建設に先立つ緊急発掘で、約16㎡を対象として実施しました。

調査の結果、堀跡と、ピット14基が確認されました。堀跡(第1号堀跡)は、上幅約2m、深さ約0.9mの規模でした。

堀跡の年代を決定付ける遺物はほとんど出土しませんでした。形態や土の特徴などから近世期のものと考えられます。

覆土中から出土した遺物としては、縄文土器片(前期、加曾利E式、堀之内II式、安行3c式)と、南比企産の須恵器甕片などが出土しており、今回の調査では確認されませんでした。これらの時期の集落が周辺に分布していることが推察されます。

今回の調査で検出した堀跡については、今後、古地図や地引図等に記載がないか確認し、近世における当該地の土地利用の一端を明らかにしていきたいと考えています。



写真1 第1号堀跡全景(南から)



写真2 第1号堀跡全景(北から)

・北本市埋蔵文化財包蔵地(遺跡)分布図 (西側)

